

統合版水道料金システム
購 入 仕 様 書

夷隅郡市広域市町村圏事務組合

統合版水道料金システム購入仕様書

本仕様書は、夷隅郡市広域市町村圏事務組合が発注する物品購入に係る仕様について定めるものである。

1. 件 名 統合版水道料金システム
2. 物件及び数量 別紙1「納入機器仕様詳細」のとおり
3. 納 入 場 所 千葉県いすみ市弥正88番地1
夷隅郡市広域市町村圏事務組合水道局
千葉県勝浦市沢倉515番地2
水道局勝浦サービスセンター
千葉県いすみ市大原8532番地の2
水道局いすみサービスセンター
4. 納 入 期 限 令和8年9月30日
ただし令和8年4月1日に並行稼働が可能となること。
5. 納 入 条 件
 - (1) 契約対象物件(以下「納入機器」という。)は、庁内ネットワーク内での使用が可能な状態で引き渡すこと。
また、全ての納入機器の設置が完了していること。
 - (2) 納入期限までに、組合水道局が保有する旧事業体ごとの個別データを収集のうえ移行作業を行うこと。
 - (3) 搭載するシステムソフトウェア(以下「新システム」という。)に関する条件等は、別紙2「システム要件」のとおりとする。
 - (4) 契約締結後直ちに納入スケジュールを作成し、職員の承認を得ること。
 - (5) 納入機器の配置については、担当職員と十分な打合せの上調整を行うものとする。
 - (6) 今回納入する全ての機器及びソフトウェアは、6年目の使用に耐えられることを条件として5年以上の動作保証をすること。
 - (7) 経費の二重投資等を防止し、無駄のない経済的な構築を行うこと。
6. 保証内容
 - (1) 今回納入する全ての機器及びソフトウェアの保証期間中のオンサイト保守を行うこと。
 - (2) 故障受付窓口を確保し、受付は24時間365日、サーバー機器関連は24時間365日、その他機器は平日9:00～17:00の対応をすること。
 - (3) 障害発生時は速やかに復旧作業を行うこと。
 - (4) 保守及び運用に関する連絡体制図を作成し、納入機器の設置完了後速やかに提出すること。
7. 付帯条件
 - (1) 納入機器の機種及びソフトウェアは最新のものであること。

- (2) 各周辺機器の接続において、インターフェースが必要な場合は費用に含むこと。
- (3) 各種ソフトウェアについては同等品を不可とする。
- (4) 不用資材は全て受注者にて処分・撤去すること。
- (5) 予定する納入機器が製造中止になった場合又は大きな不具合が見つかった場合は同等品の中から担当者の許可を得て変更すること。

ただし、予定する納入機器の性能を下回ってはならない。

- (6) 現存の建物や施設、設備に損害を与えることのないように作業を行い、障害を与えた場合は現状に復すること。
- (7) 作業は安全に充分注意し、職員に危害を与えぬよう事故防止対策に万全を期すこと。
- (8) 搬入、設置、設定については担当者と日程調整を行い、指定する期限内に全機能を稼働可能状態とすること。
- (9) 水道局職員に対し、新システムの教育及び操作研修を実施すること。
- (10) 別紙3「システム機能要求仕様」に必須要件として記載するシステム機能については、原則として標準装備とするが、カスタマイズによる対応を認める。ただし、カスタマイズ費用を別途計上し、またはランニングコストに転嫁することは認めない。
- (11) データ移行作業は、現行システムから標準機能により出力したデータを使用することを原則とし、不足データについては、出力帳票等から受注者の作業により補完すること。

8. その他

- (1) 納入機器の引渡し時に、別紙4「提出図書一覧」に記載の図書を添付すること。
- (2) 新システムで生成されたデータは、すべて当組合が所有権を持つものとする。
- (3) 本仕様書に定めのない事項又は本仕様に疑義が生じた場合は、発注者と受注者で協議の上決定するものとする。

1. 基本的なシステム構築に必要な納入機器等の仕様詳細は以下のとおりとする。
2. 納入機器を円滑に機能するため周辺装置、付属品等一式を含むものとする。
3. 納入機器については、「5. 仕様細目」に記載する規格・数量等の条件を満たすこと。
4. サーバについては、既設のサーバーラック(川村電気産業㈱社製ITS-42-1020WB)に設置すること。

5. 仕様細目

(1) サーバ機器関連

品名	規 格 等	数量
サーバ	・サーバ専用機であること ・型式:ラックマウント型であること ・OS:Windows Server 2022 Standard 以上 ・CPU:Intel Xeon-G 6426Y (2.5GHz/16コア/32スレッド) 以上 ・メモリ:32GiB 2Rx8以上 ・ストレージ:内蔵2.5インチ SATA SSD-480GB×4 以上 ・ストレージ:内蔵DVD-ROMユニット ・RAID構成:RAID5 ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:24時間365日) ・19インチラック内に設置すること ・KVMアダプタケーブル(USB) 型名PY-CBKAU11を付属すること ・フォルダ、ファイルへのアクセス権については担当者と打ち合わせの上設定すること。	2
無停電電源装置	・型式:ラックマウント型であること ・ラインインタラクティブ方式であること ・定格容量:1500VA / 1200W 以上 ・定格電圧:100V ・最大出力電流:15A ・出力コンセント:3P(平行2P、アース付き)×6 以上 ・今回納入するサーバーを、停電時に安全にシャットダウンできるように設定すること ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:24時間365日) ・バッテリー交換(部品費、作業費)についても保守の範囲内で行うこと ・19インチラック内に設置すること	1

(2) クライアント機器関連

品名	規 格 等	数量
ウルトラコンパクト型 パソコン	・型式:ウルトラコンパクト型 (W40×D190×H200mm 相当) ・OS:Windows 11 Pro (64bit) ・CPU:Intel Core i5 以上 ・メモリ:8GB 以上 ・ストレージ:SSD256GB 以上 ・LANインターフェイス:1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応×1 以上 ・インターフェイス:USB3.0準拠×4以上 ・DisplayPort1.2×1、HDMI出力端子×1、オーディオジャック×1 ・キーボード:光学式無線キーボード(テンキー付日本語)であること ・マウス:光学式無線マウスを添付すること ・外付けDVD±RWドライブを添付すること ・ソフトウェア:Microsoft Office Professional Plus 2024以上を添付すること ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)	7
ウルトラコンパクト型 パソコン	・型式:ウルトラコンパクト型 (W40×D190×H200mm 相当) ・OS:Windows 11 Pro (64bit) ・CPU:Intel Core i5 以上 ・メモリ:8GB 以上 ・ストレージ:SSD256GB 以上 ・LANインターフェイス:1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応×1 以上 ・インターフェイス:USB3.0準拠×4以上 ・DisplayPort1.2×1、HDMI出力端子×1、オーディオジャック×1 ・キーボード:光学式無線キーボード(テンキー付日本語)であること ・マウス:光学式無線マウスを添付すること ・ソフトウェア:Microsoft Office Professional Plus 2024以上を添付すること ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)	10

品名	規 格 等	数量
ノートパソコン	・型式:薄型15.6型ノートPC ・OS:Windows 11 Pro (64bit) ・CPU:Intel Core i5 以上 ・メモリ:8GB 以上 ・ストレージ:SSD256GB 以上 ・LANインターフェイス:1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応×1 以上 ・無線LAN:Wi-Fi6 以上 ・インターフェイス:USB3.0準拠×2以上 ・キーボード:JIS配列 テンキー付であること ・マウス:光学式無線マウスを添付すること ・ソフトウェア:Microsoft Office Professional Plus 2024以上を添付すること ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)	2
液晶ディスプレイ	・画面サイズ:23.8型 相当 ・解像度:1920×1080 以上 ・IPS液晶 ・表示色:最大1670万色以上 ・インターフェイス: DisplayPort1.2×1、HDMI出力端子×1	17

(3) その他機器関連

品名	規 格 等	数量
バックアップ用HDD	・型式:3.5インチ 外付けHDD ・容量:12TB 以上 ・RAID構成:RAID5 ・容量:4TB 以上 ・今回納入するサーバデータの定期的なバックアップ設定を行うこと。 ・1週間分のバックアップデータを保管できること。 ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:平日9時～17時 以上、HDD返却不要であること) ・19インチラック内に設置すること	1
メールシーラー	・型式:カット紙用メールシーラー ・用紙サイズ:天地210～297mm×幅139.7(5.5インチ)～210mm以上 ・処理速度:最大 4,300通/時(Z折り) ・給紙方式:ゴムローラーと紙サバキ板によるフリクション方式 ・スリッター、静音モード、手差し機能が備わっていること。 ・キャビネットを付属すること。 ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)	2
検針機器	・型式:CANON ハンディターミナルPRea GT-40P(以下同等品不可) ・ロールペーパーホルダー(RH-50) ・予備バッテリーパック(HB-402) ・バッテリーチャージャー(CH-40IIN) ・SDカード(SDカード 1GB for HT) ・キャリングケース(GT-40P RH対応キャリングケース) ・サポート:5年間の保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)	30
HT周辺機器	・通信ユニット:CANON 通信ユニットOC-8WL(同等品不可) ・集合充電器:CANON 集合充電器BB-41II(同等品不可) ・サポート:5年間の保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)	4
レーザープリンター	・型式:モノクロレーザープリンター GS1-128及び郵政カスタマバーコード出力に対応していること。 ・プリント方式:LEDアレイ+乾式一成分電子写真方式 ・メモリー容量:512MB 以上 ・連続印刷速度:39枚/分(A4ヨコ) 以上 ・解像度:書き込み1200dpi×1200dpi 以上 ・給紙容量:本体トレイ2段(550枚+275枚)+手差し(100枚) 以上(67g/㎡) ・排紙容量:275枚 以上(67g/㎡) ・ウォームアップタイム:17秒 以下 ・ファーストプリントタイム:6.5秒 以下 ・1枚あたり印刷コスト:4円/枚 以下 ・両面印刷が可能であること。 ・インターフェース:1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、USB ・最大消費電力:1073W 以下 ・圧着紙に対応していること。 ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)※定期交換部品含む	4

インクジェット プリンター	・型式:A4モノクロインクジェットプリンター(デスクトップタイプ) ・プリント方式:インクジェット(MACH)方式 ・解像度:書き込み1200dpi×600dpi 以上 ・1枚あたり印刷コスト:0.5円(税込み) 以下	1
インクジェット 複合機	・型式:A3ノビ対応複合機(ファクス付・デスクトップタイプ) ・プリント方式:インクジェット方式 ・解像度:読み取り600dpi×600dpi 書き込み1200dpi×600dpi 以上 ・コピー原稿サイズ:A3 ・ファックス受信サイズ:A3 ・インターフェース:1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、USB ・スキャンデータは、ネットワークフォルダへ転送機能を備えていること。 ・1枚あたり印刷コスト:A4普通紙標準モード モノクロ0.9円(税込み) カラー2.2円(税込み) 以下 ・サポート:5年間のオンサイト保守 (対応時間:平日9時～17時 以上)	2
バーコードリーダー	・型式:ハンドバーコードリーダー ・接続方式:USB	3

(4)ソフトウェア関連

品名	規 格 等	数量
バーコード作成	・Ainix BarStar Pro V4.0(25ライセンス)	1
電源管理ソフト	・PowerChute Network Shutdown v5.0(シュナイダーエレクトリック)	2

1. 前提条件

- (1) 新システムは、独自システムの構築ではなく、パッケージシステムを導入することを基本とする。また、パッケージはノンカスタマイズを原則とするが、やむを得ずカスタマイズする場合には、バージョンアップ等を考慮し、拡張性を維持するため、極力業務パッケージの根幹に対する改修を避けるものとする。
- (2) パッケージシステムに関しては、受注者自らが開発し、自らがサポート可能な事。また、障害切り分け（保守対応）についても、受注者が窓口となり、当組合からの連絡等の一本化が図れること。
- (3) 導入システムは、自庁処理方式を基本とし、新システムはパソコンによるweb方式を採用すること。
- (4) 導入システムは、信頼性の確保と安定稼働を目的とし、当組合で稼働している業務システムのデータ移行を確実に行うこと。
- (5) 伝票・帳票等は、A4版を基本とし、普通用紙にて対応可能なものとする。
- (6) 帳票はプレビュー画面で確認でき、必要な帳票のみ印刷できること。また、専用帳票を使用しなくても汎用紙へ書式を印刷できること。（納付書等一部の書式については、専用紙及び汎用紙の両方印刷が可能であること。）
- (7) クライアントからデータ照会・検索および帳票の出力などがタイムリーに処理できるシステムであること。
- (8) 業務データは最新のみでなく、過去の履歴データを管理して経年データの照会ができること。
- (9) システムの使用者毎にID・パスワードを設定し、使用できる業務権限の管理が出来ること。
- (10) システム使用者のアクセス履歴を取得し、取得したアクセス履歴を検索・照会できること。
- (11) 事務の効率化及び経費の節減を図るため、非定型処理についてはEUCによる対応を可能とすること。
- (12) サーバで管理するデータを抽出しEXCEL等のOAソフトで自由に加工して資料を作成できること。
- (13) サーバの起動・停止、バックアップの取得等はスケジューリングにより自動化し、職員に負担がかからないこと。
- (14) システムの保守をリモートで受注者が実施することにより職員負担の軽減及び障害の早期復旧が可能なこと。

2. システム機能

- (1) システム機能は、別紙「システム機能要求仕様」に記載されている仕様を可能な限り実現すること。ただし、「必須要件」欄に印のある項目については、「対応不可」を認めない。

3. スケジュール条件

- (1) 短期間で確実な納入が実施可能な作業スケジュールとすること。
- (2) システムの本稼働時期は、納入期限を厳守すること。なお、本稼働日を前倒しすることも可能とする。

4. 動作テスト

- (1) システム動作テストに別途システム機器が必要な場合は、受注者において準備すること。
- (2) システム動作テストを行う環境は受注者にて整備すること。
- (3) 各種テスト及び並行稼働テストを行い、動作確認に万全を期すこと。
- (4) 並行稼働テストは、本稼働用システム機器を使用して行うこと。
- (5) システム動作テスト機器に保存された個人情報等のデータは、受注者の責任において削除すること。
- (6) 口座振替データ及び納入通知書のOCR読み取りデータによる読み取りテストを調整・実施し、十分な検証を行うこと。
- (7) コンビニバーコードの読み取りテスト及び収納データの受信テストを調整・実施し、十分な検証を行うこと。
- (8) その他、必要なシステムとの連携テストを行うこと。

5. データ移行作業

- (1) 原則として、現存する使用者情報、水栓情報、メーター情報、調定情報、収納情報等について使用する全ての項目を移行すること。
- (2) 使用者情報及び水栓情報は、過去使用者を含み、全ての使用者及び水栓を移行する。また、異動履歴も移行対象とする。
- (3) 調定情報は、更正履歴を含み全てを移行対象とする。収納情報（還付・充当含む）は、分納履歴を含み全てを移行対象とする。
- (4) メーター情報は、在庫管理するメーターを含み、全てを移行対象とする。また、設置場所履歴についても移行対象とする。
- (5) 新システムでの追加項目については、職員の負担が発生しないように、受注者にて登録作業を実施すること。また、新システムで使用するコードマスタの登録作業についても、受注者にて実施すること。

- (6) 既存システムからのデータ抽出については、原則標準機能により出力したデータを使用するものとする。不足する情報については、受注者においてパンチ入力その他の方法により補完するものとする。
- (7) 新システムへのデータ移行について、データ移行の確認作業や確認方法を定め、データ移行の漏れや変換誤り等の検証及び新システムでの動作検証を実施すること。
- (8) データ移行に際し、極力、職員による手入力作業が少なくなるような工夫を講じること。
- (9) データ移行対象件数は、概ね次のとおりである。
 - ア 水栓数(R 7. 6月末)約43,000件
 - イ メーター数(管理数・R 7. 6月末)約48,000件
 - ウ 使用者数(R 7. 6月末)約35,000件
 - エ 調定件数(年・R 6年度)約213,000件
 - オ 口座情報(R 7. 6月末)約29,000件
 - カ 滞納件数(R 7. 6月末)約18,000件

6. 職員研修

- (1) 新システムの機能を理解・習得するために、本稼働開始前に職員、検針員等に対し、必要な研修を実施すること。
- (2) 操作説明書等については、必要部数作成するとともに、電子媒体によるデータ版を併せて納品すること。

7. 保守及び運用

- (1) ソフトウェアのバージョンアップに対応すること。
- (2) 消費税率の改正に伴うシステム改修など、法令が改正された場合に必要なシステム改修は原則として追加費用を要しないこと。ただし、法令改正の内容が大規模である場合は、この限りでない。
- (3) 緊急災害時や計画停電に特別な操作が必要な場合は、操作支援を行うこと。
- (4) システム機器に障害が発見された場合は、速やかに対応すること。
- (5) 納入後において、システム操作・運用に関する質問・要望があった場合は、担当技術者が現地・電話対応等により迅速かつ丁寧に対応すること。
- (6) 業務に支障のある障害が発生した場合は、迅速に障害を検知し、早急に復旧に努めること。

別紙 3	システム機能要求仕様
------	------------

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
1	システム全般	システム	Web対応のシステムであること。	●
2			自社開発製品であること。	●
3			水道料金に係る一連の業務が行えるパッケージシステムであること。	●
4			非定型処理にあつては、EUCによる対応が可能であること。	●
5		オンラインヘルプ	オンラインヘルプの機能があること。	●
6			操作者にてオンラインヘルプに書き込みが可能で、どのクライアントからでも書き込み内容の確認ができること。	●
7			オンラインヘルプ画面は、A4サイズのマニュアルとして頁指定で印刷が可能なこと。	●
8		操作性	どの照会/変更画面からでもメニューバーを表示し、メニューバーより水栓登録画面に遷移できること。	●
9			どの照会/変更画面からでもメニューバーを表示し、メニューバーより使用者検索/調定検索/予約検索/滞納者検索/調定更正伺い検索画面に遷移できること。	●
10			どの照会/変更画面からでもメニューバーを表示し、メニューバーより宛名登録/宛名一覧画面に遷移できること。	●
11			どの照会/変更画面からでもメニューバーを表示し、新規画面の起動ができること。	●
12			操作性は統一させており、煩雑な手順なく操作が行え、担当者の異動があっても容易に理解できるシステムとすること。	●
13			G U I を十分利用し、分かりやすい操作画面であること。	●
14			ファンクションキー、タブキーを活用し、マウス以外でも操作できること。	●
15			初心者が簡単に操作できるように、コード管理された項目は全て選択画面を表示していること。また、直接コード入力も可能であること。	●
16			トピックスパスが表示され、現在画面の画面遷移が容易に確認できること。	●
17			各画面からホーム画面に一回で戻ることができること。	●
18			トップ画面からワンクリックで「基本項目のみの検索画面」や「その他の項目の検索画面」を起動できること。 ・基本項目とは項番 4 2 に記載の項目。（窓口用検索画面） ・その他の項目とは項番 4 8 に記載の項目。（拡張検索画面）	●
19			トップ画面に表示している当日の予約件数より、対象の予約情報一覧が表示できること。	●
20			トップ画面のカレンダーで日付を選択することで、選択日付に該当する予約情報、当日業務を表示し、各機能に遷移できること。	●
21			トップ画面のお知らせは重要度の高い順に表示できること。	●
22			トップ画面に表示するお知らせと当日業務は、各登録画面に遷移するのではなく、トップ画面より追加できること。	●
23		日付入力	日付入力カレンダーにより入力できること。	●
24			西暦（2016/1/1）と和暦（R 6 /1/1）両方の入力に対応していること。	●
25		検索機能	条件の複合検索、範囲指定検索、全文一致検索、部分一致検索などが可能であること。	●
26			結果については一覧表示がされること。	●
27			同姓同名者など検索条件に当てはまったデータは全て表示でき、結果を一覧表示できること。	●
28			一度目の検索条件をもとにさらに条件を追加した絞り込み再検索ができること。	●
29			一度、履歴検索を行なった場合には再度、検索条件を入力することなく表示できること。	●
30			検索一覧から現在の使用者、過去の使用者、滞納の使用者、未納の使用者が容易に判断できること。	●
31			通常検索画面（拡張検索画面）の他に、頻繁に使用する検索項目（水栓番号、使用者番号、カナ、氏名、電話番号、住所、メータ番号）だけを集めた簡易検索画面（窓口用検索画面）があること。	●
32		複写機能	請求先、連絡先の登録において、氏名や住所が同一の場合、複写機能により入力を簡素化できること。	●
33		運用経費削減	印刷物の宛名については、郵政カスタマバーコードを出力できること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
34	システム全般	運用経費削減	索引簿などの台帳を必要とせずシステムにより使用者情報、調定情報、収納情報を管理運用できること。	●
35			環境保護に考慮して出力帳票はプレビュー機能を用いて画面上で確認を行うことができること。	●
36			プリント出力する際は、ページの任意指定ができること。	●
37			帳票は電子保存ができ、過去に印刷した時点の帳票の再発行ができること。	●
38	セキュリティ	認証・業務権限	システムの使用者ごとに使用者ID、パスワードを設定し、使用できる業務処理の制限を設定して、業務権限の管理ができること。	●
39			担当者が操作できない処理については画面上から処理メニューが表示されないこと。	●
40		パスワード管理	あらかじめ指定して回数分、パスワードを誤入力した場合にログイン不可とできること。	●
41			パスワード変更、有効期限設定がログイン画面から行えること。	●
42			同日にパスワード変更を複数回行えない様、制御できること。	●
43			過去3回と同じパスワードを指定できない制御ができること。	
44			あらかじめ指定した文字数以下のパスワードは指定不可とする制御ができること。	●
45			パスワードとユーザ名が同一の場合はエラーとする制御ができること。	
46			数字のみ、英字のみのパスワードをエラーとする制御はできること。	
47		アクセスログ管理	操作履歴について記録管理が行えること。	●
48		ハンディターミナル	盗難や紛失時のセキュリティ対策としてパスワード入力によるセキュリティが掛けられること。	●
49			小型認証装置のような外付けのハードウェアとの組み合わせによる認証にも対応可能なこと。	●
50			データの暗号化が行われていること。	●
51	データ管理	統計処理	統計帳票は日付指定（過去日含む）を行うことにより、該当日時点での調定と収納の集計件数金額などを帳票に出力できること。	●
52			水量、調定額の順位指定で帳票を出力できること。	●
53			統計表は水量段階別に出力できること。	●
54			水量段階は設定変更できること。	●
55			使用水量順位表、水道給水件数表、給水人口件数表、口径別用途別使用水量統計表、年間個人調定明細、口径別調定集計表、調定額集計表、調定更正集計表、収納状況表年度、収納月計表、収納年度計表、総合統計表を出力できること。	●
56			隔月検針であっても、1月ごとの使用水量、料金等を帳票に出力できること。	●
57		過去データ照会	過去の完納データなど、利用頻度の低いデータを外部データベースに切出すことができること（データ保存期間は設定変更できること）。	●
58			切出したデータと保持中データを統合してデータ照会ができること。	●
59	マスタ管理	EUC機能	エンドユーザーコンピューティングを実現していること。職員が表計算ソフトなどを活用して、データを切出し項目、項目並び順、抽出条件を画面から指定できパソコンに取り込み、自由に加工・印刷・保存ができること。	●
60			定例運用を想定してパターン登録と呼び出しができること。	●
61		操作性	工事業者や複数水栓使用者の氏名、住所、請求方法などを事前登録（マスタ化）し、開栓時に引用を行うことにより入力を簡素化できること。	●
62		住所コード	郵便事業(株)ホームページからダウンロードした郵便番号・住所データが簡単に取り込み一括置換が可能なること。	●
63			郵便番号改正時に対応できること。	●
64			住所、地番、郵便番号は予め登録された住所コードの入力により簡素化できること。	●
65		金融機関管理	口座振替用委託者情報の管理が行えること。	●
66		コード管理	自治体情報、地区情報、検針員情報、検針地区情報、施設情報、量水器情報、料金計算情報、用途情報、金融機関情報、金融機関支店情報、集金人情報、制御情報の管理が行えること。	●
67	運用支援	運用スケジュール管理	運用スケジュールを登録し、これに基づく業務実績（進捗状況）を画面から確認できること。	●
68		運用支援	人事異動などに起因する実行漏れ防止などの運用サポートを行えること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
69	運用支援	運用支援	年間スケジュールに応じて職員への通知メッセージをスケジュール登録しておき、職員がシステム利用時にその通知メッセージを画面で確認できること。	●
70			通知メッセージは、全体用か個別用かを選択できること。	●
71		遠隔保守	リモートメンテナンスが可能であること。	●
72		地区コード変更	地区の統廃合時等により、地区コードが一括変更できること。	●
73		料金調定・収納予測	改定後料金、給水件数などを元に将来の調定収納額の予測ができること。	●
74		給水台帳管理	工事図面や各種申請書を電子台帳として登録し、水栓使用者の照会画面より給水台帳を呼び出すことができること。	
75	統合広域化対応	複数料金体系	旧事業体毎で異なっている料金体系を管理できること。	●
76		検針サイクル	旧事業体毎で異なっている検針サイクルを管理できること。（毎月検針、隔月検針など）	●
77		集計処理	旧事業体毎の集計や検索ができること。（調定収納集計など）	●
78		旧管理番号対応	水栓番号、使用者番号などのキーとなる番号については、統合後の統一番号に加え、旧事業体で使用していた番号での検索照会に対応できること。	●
79		消費税端数処理	消費税の端数処理も多くのパターンに対応できること。	●
80	窓口対応	検索機能	検索画面は、窓口で頻繁に使用する検索項目のみ表示する窓口用検索画面と、多くの項目を範囲指定で検索できる、拡張検索画面の2種類の検索画面が有ること。	●
81			窓口用検索画面は以下の項目で検索できること。 ・水栓番号、使用者番号、使用者氏名、使用者氏名カナ、電話番号、使用者個人番号、設置場所住所、設置場所方書、メーター番号、検針順序	●
82			窓口用検索画面で検索する場合は、直近の使用者のみ表示できるように、検索条件を指定できること。（過去使用者の表示有無を選択できること。）	●
83			窓口用検索画面は、過去に照会した使用者の履歴が表示でき、選択することで再度照会が可能なこと。履歴は操作者ごとに直近20件まで表示できること。	●
84			窓口検索画面で検索結果が1件の場合、検索結果一覧画面を経由せず、使用者照会画面に遷移すること。	
85			窓口検索画面は、上部に検索入力項目、下部に検索結果一覧を表示し、誤まって検索した場合でも画面を戻ることなく、再度検索指定が可能なこと。	●
86			窓口検索画面で過去使用者を含み表示した場合、直近の使用者から一覧表示すること。	●
87			拡張検索画面では次の内容で検索が行えること。 ・使用者氏名、使用者氏名カナ、設置場所、設置場所方書、電話番号、勤務先電話番号、使用者番号、世帯番号、使用者個人番号、検針順序、水栓番号、請求先氏名、請求先氏名カナ、請求先住所、請求先住所方書、請求先電話番号、請求先個人番号、所有者氏名、所有者氏名カナ、所有者住所、所有者住所方書、所有者電話番号、所有者個人番号、用途、変更日、口径コード、変更日（口径）、メーター番号、検満年月、メータ交換日、徴収方法、納入区分（銀行コード）、支店コード、口座番号、名義人名、水栓状況、工事業者、新設日、開栓日、閉栓日、廃止日、開栓事由、閉栓事由、異動事由、親子水栓区分、親水栓番号、親子計算区分、止水方法、検針員コード、請求保留、発送抑止。	
88			拡張検索画面では次の内容で部分一致検索が行えること。 ・使用者氏名、使用者氏名カナ、設置場所、設置場所方書、電話番号、請求先氏名、請求先氏名カナ、請求先住所、請求先住所方書、所有者氏名、所有者氏名カナ、所有者住所、所有者住所方書。	
89			拡張検索画面では次の内容で範囲指定検索が行えること。 ・使用者番号、検針順序、水栓番号、用途、変更日、口径コード、変更日（口径）、メーター番号、検満年月、メータ交換日、徴収方法、納入区分（銀行コード）、支店コード、水栓状況、新設日、開栓日、閉栓日、廃止日、開栓事由、閉栓事由、異動事由、親子計算区分、止水方法、検針員コード。	
90			拡張検索画面では同一請求者、同一水栓所有者の検索が可能なこと。	
91			拡張検索画面では検索結果を次の項目で並び替えが出来ること。 カナ氏名、使用者番号、検針順序、設置場所住所	
92			運用中に管理項目が増えた場合のために、拡張検索画面では予備項目も検索可能であること。	●
93			検索後の使用者照会画面から調定情報画面や収納情報画面へ移ることができ、開閉栓状況や検針状況（未検針／検針中／検針済）、検針結果や収納状況などの問合わせに迅速な対応ができること。	●
94			前回入力した検索条件を表示可能なこと。	●
95			検索結果一覧の使用者情報をコピー（保存）し、開栓処理で複写利用できること。	●
96			検索結果一覧画面から使用者照会画面や検針情報画面、調定情報画面、使用者情報変更履歴画面に直接遷移できること。	●
97			「_」を用いて任意文字を指定し検索できること。（“ あいうえ ” の検索が、“ あ__う ” で出来ること）	

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
98	窓口対応	検索機能	交渉予定で該当使用者を検索できること。	
99			未納額、未納件数で滞納者の検索ができること。	●
100			検索指定で空白文字は省略できること。	●
101			カナ氏名検索については、大文字小文字、濁点の有無を同一視すること。	●
102			検索結果一覧表には検索件数が表示されること。	●
103		照会	水栓番号を用いて、該当水栓の過去の使用者や調定収納状況を照会できること。	●
104			検満切れメーターは、検満年月を赤色表示で分かるようにすること。	●
105			過年度分の収納状況の間合せ対応がスムーズに行えること。	●
106			調定収納一覧表示画面で完納分のみ／未納、分納分のみ／全件の表示切替えができること。	●
107			調定収納一覧表示画面を特定の調定年月の範囲のみ表示できること。	●
108			同一市内での転居した調定・収納状況を再検索することなく一覧画面で照会できること。	●
109			開栓予約有無、閉栓予約有無、徴収方法変更予約有無、市内転居者、分納誓約者、纏め請求者の確認が同一画面でできること。	●
110			使用者照会履歴件数はシステムで任意に設定できること。	●
111			未納調定内で納期到来と納期未到来は視覚的に判断がつくこと。	●
112			調定情報の一覧画面と検針情報の一覧画面が分かれていること。	●
113			定例業務（検針送受信、口座振替請求、口座振替収納消込、納付書発行、督促状発行など）の3回前までの調定年月の最終実行処理日をメニュー画面に表示できること。	●
114			検針情報の一覧画面には、指針、検針水量、前回検針との差水量、前回検針との差水率、異常水量理由コード、調定更正理由コード、検針員コードが表示されること。	●
115			検針情報の一覧画面より、調定データの詳細情報表示画面に遷移すること。	●
116		窓口対応	窓口対応で、水栓の新設・開栓・閉栓、及び口座振替の申込や変更・廃止などの異動届けの印刷や処理が即時に行えること。	●
117			窓口の端末装置で随時検針による精算額の即時計算が行え過去の未納分納付書の作成が即時に行えること。	●
118			使用者からの使用料金の問合わせ時、使用水量を入力することで使用料金の試算ができること。	
119			直近の給水停止予定日、給水停止日、給水停止解除日、分納誓約状況は使用者照会画面の一番最初の画面に表示されること。	●
120			任意の滞納状況を設定し表示可能なこと。	●
121			検針期間中でも開始、休止の入力ができること。	●
122			口座振替データの作成中や収納消込処理中でも使用者情報が参照できること。	●
123			調定情報を表示する画面に使用者氏名と設置場所住所が表示されること。	●
124			調定データ毎の請求履歴が確認できること。	●
125			再発行納付書は、金額指定による分納用納付書と未納調定を選択し出力ができること。	●
126			複数調定のまとめ納付書印刷が可能なこと。	●
127			請求方法を一時的に口座振替から納付書払いにした場合、口座振替に戻す場合は前回の口座情報が初期表示されること。	●
128			請求方法を変更する場合未納調定を全て変更後の請求方法に替わること。	●
129	交渉履歴管理	交渉履歴管理	受付クレーム、交渉対応履歴などを画面管理できること。	●
130			水道使用者に対して受付クレーム、交渉対応履歴、対応上の注意事項など様々な情報を入力できるメモ機能があること。	●
131			受付日、対応日時、対応相手、受付者、対応者の項目があること。	●
132			対応内容は200文字以上入力可能なこと。	●
133			対応内容とは別に備考として任意内容を200文字以上入力可能なこと。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
134	窓口対応	交渉履歴管理	交渉履歴の入力使用者に対してはすぐに内容確認できるよう画面配慮されていること。	●
135			本日対応予定件数を初期画面に表示すること。	●
136			本日対応済み件数を対応済みごとにカウントアップ表示すること。	●
137			交渉履歴とは別に1使用者に対しメモ情報を登録できること。	●
138			メモ情報は500文字以上登録可能なこと。	●
139			メモ内容の先頭60文字を使用者照会画面に表示できること	●
140		マルチ画面	入力中の画面を保持した状態で別画面から検索などの処理を行えること。	●
141	水栓管理	水栓登録	水栓情報と使用者情報を別管理できること。	●
142			水栓番号は地区コード4桁以上と、水栓通番9桁以上で構成されており、それぞれの桁数は任意に設定できること。	●
143			使用者が入退居を行う毎に自動的に履歴番号を振り、世代管理できること。	●
144			履歴番号は、過去使用者を遡って登録できるように、任意の飛ばし連番の設定が可能で、自動表示できること。(10、20、30…。5、10、15…。等、設定が可能で、その間に遡り無届者の追加登録が可能なこと。)	●
145			履歴番号は3桁以上であること。	●
146			水栓番号はシステムによる自動採番と手入力変更が可能であること。	●
147			水栓登録時に配水区、浄水区を登録できること。	●
148		メーター管理	メーターの取付時には、口径、種別に該当する在庫メーターを一覧表示して選択できること。	●
149			検満年月を過ぎたメータを取り付ける場合に警告メッセージを表示すること。	●
150		予約管理	開閉栓の予約入力が行えること。一覧画面を表示し、開閉栓受付伝票の即時出力ができること。	●
151			開栓予約情報として開栓予定日、使用者氏名、使用者住所、電話番号、届出人氏名、届出人住所、電話番号、続柄、請求方法、請求先住所、電話番号が登録できること。	●
152			清掃業者などマスタ化された情報で同じ使用者情報を登録することができること。	●
153			開栓予約入力画面の請求先住所情報はメータ設置場所住所が初期表示されること。	●
154			開栓予約登録時に予め閉栓予定日が決まっている場合は、閉栓予定情報も同時に登録できること。また、開栓予約実行後に自動的に閉栓予約登録されること。	●
155			閉栓予約情報として閉栓予定日、精算時刻、届出人氏名、届出人住所、電話番号、続柄、転居後の請求方法、請求先住所、電話番号が登録できること。	●
156			請求先住所とは別に使用者住所、電話番号、連絡先住所、電話番号が登録できること。	●
157			本日が予約日である開栓者、閉栓者の件数を初期画面に表示すること。	●
158			開栓処理、閉栓処理を実行する毎に処理済件数をカウントアップすること。	●
159			閉栓予約登録時に調定収納データの一覧画面に遷移可能なこと。	●
160			閉栓予約登録後に同一市内への転居の場合、連続して新住所での開栓予約ができること。	●
161			閉栓予約登録後に連続して次の使用者の開栓予約情報を入力できること。	●
162			閉栓予約登録に請求先情報の変更が発生した場合に、閉栓予約情報が存在する警告メッセージを表示すること。	●
163			水栓照会画面で開栓予約、閉栓予約、納入方法変更予約が登録してあることが確認できること。	●
164			開閉栓の予約情報から、予約日を範囲指定して開閉栓予定一覧を表示し、そこから開栓入力、閉栓入力画面に遷移すること。	●
165		異動処理	使用者からの開栓中止などの届け出に際し、異動届けを出力できること。	●
166			水栓情報の異動入力した内容を、変更前後で異動のあった箇所にマークをつけて確認できること。	●
167		状態管理	開閉栓状態の詳細管理を行うため、転居開栓、無届開栓、休止解除、職権中止解除転出、一時休止、職権中止などの状態を管理できること。	●
168			開閉栓状態を使用者の照会画面に表示、確認できること。	●
169			水栓の状態（未開栓、開栓、閉栓、休栓、給水停止、閉栓、廃止）を示す文字色を任意に設定できること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
170	水栓管理	開閉栓	開閉栓、登録廃止の取消し処理が行えること。	●
171			閉栓取消しについては閉栓時に作成された精算調定が自動的に削除されること。	●
172			閉栓・休栓が不明の場合を考慮し、開栓時に別使用者開栓から同一使用者開栓に切替が可能とすること。	●
173			同一使用者の再開栓は、請求情報を含む前情報を引継ぎ再入力を不要とすること。	●
174			アパートやマンションなどの閉栓時は、管理者へ使用者の自動切換えができること。	●
175			水栓管理者（オーナー、管理会社など）の登録ができ、閉栓時に同管理者で開栓処理が行えること（請求情報を含む）。	●
176			閉栓処理では止水方法を入力できること。	●
177			閉栓の精算調定を確定しなくても、新使用者による開栓処理ができること。	●
178			開栓手数料を管理できること。	●
179		親子メーター管理	親子水栓の管理に対応できること。	●
180			親子水栓の種類は加算メータ、減算メータがあること。	●
181			親子水栓の登録時に親子メータの検針順序のチェック機能があること。	●
182		所有者／管理人情報	所有者情報と管理人情報（申請者、マンションなど）を登録できること。	●
183			所有者情報や管理人情報、申請者情報はそれぞれ住所、氏名、郵便番号、電話番号を登録できること。	●
184		複数水栓使用者	複数水栓に対する同一使用者、同一請求先の管理ができること。	●
185			アパート、マンション等の同一所有者の複数水栓を世帯数指定し一括登録できること。	●
186			入力作業の軽減や入力漏れを防止するため、元情報を変更した場合、関連する水栓使用者、請求先が連動して変更できること。	●
187		複写機能	複数水栓を登録する場合、設置場所住所など入力を簡素化するために複写機能を要していること。	
188			同一水栓の申請者、所有者、管理人の登録においても、氏名や住所などが同じ場合、入力を簡素化するために複写機能を要していること。	
189		施設情報管理	設置場所、所有者、工事業者、竣工日給水方法、ポンプ有無などの施設情報を登録できること。	●
190			貯水槽管理（受水槽や高架水槽など）は容量、給水階数、給水方式などの施設管理と清掃検査の履歴管理が行えること。	
191			実施日、清掃業者などで検索できること。該当施設の水栓一覧表示ができること。使用者の照会画面から該当施設情報を照会できること。	
192			貯水槽毎の利用者一覧を画面表示できること。	
193			使用者の間合せ対応のために使用者の照会画面から該当貯水槽の照会画面に遷移できること。	
194			漏水減免折衝記録の管理、修理業者の登録機能、指定工事店チェック機能を有すること。	●
195			検針順序やメーター位置の登録が行え、検針順序については簿冊単位に一括で検針順序の振直しができること。	●
196		帳票出力	水栓台帳、水栓件数集計表、貯水槽台帳、地区別貯水槽集計表の出力ができること。	●
197	使用者管理	履歴管理	徴収方法や氏名などの使用者情報の変更を履歴管理できること。	●
198		予約管理	徴収方法の変更（納付から口座への切り替えなど）は、事前届出時に予約情報の入力が行え、次回請求に反映されること。	●
199			予約入力した内容を再入力することなく異動入力が行えること。	●
200		市内転居	同一市内転居者の口座情報、調定・収納情報の引継ぎと照会が行えること。	●
201		遡及入力	無断使用が発覚した場合、過去に遡って使用者の追加処理が行えること。	●
202			無断使用が発覚した場合、過去に遡って調定情報の追加処理が行えること。	●
203		精算入力	精算日、精算時の指針を入力することで、自動で水量計算を行い水道料金を算出すること。	●
204			精算登録入力後に転居水栓の空家検針の設定ができること。	
205			精算登録入力後に納付書発行画面に遷移できること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
206	使用者管理	精算入力	精算登録入力後に収納消込画面に遷移できること。	●
207			誤って閉栓した場合、閉栓取消ができること。	●
208		ハンディ精算	閉栓予約はハンディターミナルにより指針入力し料金の自動計算と領収書発行が行えること（過去の未納があれば料金徴収が行えること）。	
209			ハンディターミナルの入力結果をパソコンに取込み閉栓処理と徴収料金の消込みが自動的に行えること。	
210		照会	調定・収納情報の一覧画面は、収納分・未納分の表示切り替えができること。また、水量、金額以外に徴収方法や請求回数、納入期限、収納日などが表示できること。	●
211			収納状況（未納／分納／完納／過誤納／欠損）の状態の色を任意に設定できること。	●
212		異動入力	使用者情報の異動入力した内容を、変更前後で異動のあった箇所にマークをつけて確認できること。	●
213		発行保留	郵便物の発送については送達先不明となった場合などに発行保留ができること。また、対象者の一覧を確認できること。	●
214			発行保留の対象者の一覧を確認できること。	●
215		帳票出力	給水装置開栓届、異動届、給水装置閉栓届、検針指示票、給水証明書、収納証明書、精算分請求書、水道使用開始届、使用者台帳、宛名ラベル、閉栓予約一覧、開栓予約一覧、徴収方法変更予約リスト、徴収方法変更予約結果リストの出力ができること。	●
216	メータ管理	メーター管理	メーター番号のレングスは1桁～10桁で、先頭0桁～4桁は文字部として管理できること。	●
217			口径、メーター種別（デジタル／アナログなど）、検満年月、メーカー、メーターの状態（未使用/開栓中/閉栓中/在庫/故障/修理中/検査中/埋没/廃止）を管理し、正確な使用状況と在庫状況の把握を実現できること。	●
218			メーター情報の照会ができること。メーターの使用状況或使用回数及び複数回取り付けた場合は取り付けた水栓番号や設置場所の履歴が照会できること。	●
219			メーターの検満年月を基に、指定年度中の交換予定メーターの一覧表およびメーター交換表の一括作成が行え、メーター交換を計画的に行えること。	●
220			メーター交換時のメーター交換理由管理と異常水量のチェック、持水量（交換前水量）表示ができること。	●
221			メーター交換はExcelデータの取り込みで一括交換が行えること。	●
222			メーター交換票（OCR）による一括交換入力が行えること。	
223			年間のメーターの異動状況（取付／取外など）を開閉栓、口径変更などの単位に集計でき、購入計画などに利用できること。	●
224			メーター番号は重複しないこと。メーター番号が重複しても、英数字1桁の識別子を用いて管理できること。	●
225			メーター交換業者を管理できること。	●
226		帳票出力	メーター一覧表、メーター交換使用者一覧表、給水メーターリスト、地区・口径別メーター設置状況表、メーター取替区分別集計表、水道メーター交換のお知らせ、水道メーター取替指示票、メーター交換結果一覧表、メーター交換異常水量、メーター交換エラーリストの出力ができること。	●
227	検針処理	ハンディ検針	指針に必要なデータをパソコンからハンディターミナルに転送でき、検針データのバックアップが行えること。	●
228			検針順路の範囲指定をすることができ、そのデータをハンディターミナルに送信できること。	●
229			休止や閉栓の水栓でもメータがある場合は、ハンディターミナルで検針が可能。また、検針した内容が料金システムにも検針データとして保存され照会が可能。また、検針した内容が料金システムにも検針データとして保存され照会が可能。また、検針した内容が料金システムにも検針データとして保存され照会が可能。	●
230			ハンディターミナルへ送信対象外とする除外期間を設定できること。	●
231			ハンディターミナルへ送信対象外とする未検針理由を選択できること。	●
232			ハンディターミナルはメーター指針の使用量入力、料金計算（自動計算）、水道検針票出力（使用水量、使用料金、口座振替済のお知らせなど）の3段階で操作が行えること。	●
233			ハンディターミナルはメーター指針の入力と同時に料金の自動計算を行い、使用者へ水道検針票が即時に印刷発行できること。	●
234			ハンディターミナルで入力情報の訂正、検針票出し直しができること。	●
235			ハンディターミナルで水栓番号、メーター番号、検針順序での検索ができること。	●
236			ハンディターミナルにて指針入力を選択したときに、最後に処理した次の未検針使用者を表示するか、未検針使用者の先頭を表示するか設定変更できること。	
237			ハンディターミナルで検針票印字後そのままの状態にするか、次の未検針データを自動表示するか設定変更できること。	
238			ハンディターミナルで未検針の一覧表示が可能で、選択すると検針画面に遷移できること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
239	検針処理	ハンディ検針	ハンディーターミナルで合計件数、検針済件数、未検針件数を確認できること。	●
240			ハンディーターミナルで検針員コードの変更が可能なこと。	●
241			ハンディーターミナルに、検針済みで検針票未出力の使用者のみ表示が可能で、検針画面に遷移する事なく検針票の印刷が行えること。	●
242			ハンディーターミナルの故障に備えて、操作と同時にデータをメモリーカードに二重書きできること。	●
243			ハンディーターミナルに格納されているデータをメモリーカードに退避保存できること。また、メモリーカードに格納されているデータをハンディーターミナルに回復することができること。	●
244		お客様へのお知らせ	共通のお客様への連絡事項を検針票に印刷が行え、印刷内容は画面から登録変更できること。	●
245			個別のお客様への連絡事項（漏水確認や障害物撤去など）を選択して検針票に印刷が行え、印刷内容は画面から登録変更できること。（通知メッセージはパソコンで登録編集できること）	●
246		検針票	特定の施設についてあらかじめ登録を行っておくことで、検針票の印刷抑制（検針票を印刷しない）が行えること（公園のトイレ、散水栓など）。	●
247			検針票に印刷する口座振替済のお知らせは、料金有無と口座情報有無を選択できること。	●
248		使用料お知らせ票ハガキ	使用料お知らせ票ハガキの送付先は、使用者が請求先を選択できること。	●
249		検針進捗管理	パソコン側で検針員、検針地区ごとの検針進捗状況照会ができること。総検針件数、検針済件数、未検針件数などを一覧画面で確認できること。	●
250		検針順路変更	検針員や検針地区の変更は画面から一括変更が行え、検針順序番号は一括再採番が行えること。	●
251		検針情報変更	ハンディーターミナルでメーター位置情報、検針順序の確認と変更を画面で行え、変更内容をパソコンに取込むことによりシステムに自動登録できること。	●
252		異常水量チェック	ハンディーターミナルで過去の使用水量との比較（差水値）を機械的にチェックし、異常水量の警告表示（メッセージと警告音）により漏水の早期発見ができること。	●
253			異常水量のチェック範囲は水量段階ごとに上限値／下限値を任意に設定できること。	●
254			異常水量はパソコン側で一覧表と調査票を出力できること。	●
255			異常水量などのエラーが発生した場合、エラー修正を行わないと次の処理が行えないなどの検針ミス防止対策ができていないこと。	●
256			登録された異常理由をハンディーターミナルで選択できること。	●
257			無届使用者に対し、無届通知書を出力できること。	
258		親子メーター管理	ハンディーターミナルで親子メーター計算が可能であること。	●
259			先に閉栓した子メーターの水量をハンディーターミナルに送信でき、閉栓済みの子メーターの水量を考慮した親子メーター計算ができること。	●
260		指針入力抑止	開栓日から一定期間内は調定をたてないため、開栓日から検針日までが指定日数以内であればハンディでの指針入力を抑止できること。	●
261		指針一回転	前回、検針後にメーター交換や指針の一回転があった場合でも正しい水量算出ができること。	●
262		過去水量確認	前年同期と過去2回の使用水量、または過去3回の使用水量をハンディの画面に表示できること。	●
263		検針データ事前水量更正	差引き水量、加算水量、指定水量を事前に登録でき、検針時の水量を変更できること。また、使用者番号、検針単位、検針順序の範囲指定による一括登録ができること。	●
264		検針員への申し送り	検針員への伝言、申し送り事項を検針先ごとにパソコンで登録しておき、これを検針時にハンディーターミナルで確認できること。	●
265		未検針確認	未検針分の一覧表示が行え、一覧上より指針入力画面へ遷移できること。	●
266			登録された未検針の場合の理由をハンディーターミナルで選択できること。	●
267		検針データ修正	検針データの確認が一覧画面で行え、一覧画面からデータ修正画面へ遷移し修正ができること。	●
268		水量チェックリスト	対象期間（調定月）全ての指定した水量範囲の対象者リストの出力ができること。	●
269		推定調定	メーター故障や障害物などで検針できない場合、ハンディーターミナルに表示された前回水量、前年同期水量をもとに推定水量の入力を行い調定が行えること。	
270		検針ブロック管理	検針地区のブロック管理を可能とし、ブロック毎に検針→請求が行え、業務の集中を防ぐ工夫がされていること。	
271		帳票出力	未検針一覧票、再検針票（未実地チェック票、異常水量チェック票）、水量チェックリスト、水道使用料お知らせ票ハガキ、検針結果一覧票、異常水量一覧票、親子差水量一覧一覧表、通達メッセージ一覧、HT検針順序変更リスト、受信データ調定警告リスト、受信データ調定エラーリスト、水道検針票の出力ができること。	●
272	調定処理	調定作成	ハンディーターミナルから受信した検針データをもとに自動的に調定処理が行えること。必要に応じて修正や請求保留を行った後、納付書が出力できること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
273	調定処理	調定削除	未収納の調定は、確定済みや過去調定であっても削除可能であること。	●
274		料金改定	料金改定時の計算は、月割り計算か日割り計算できること。	●
275		2 検 1 調	隔月検針毎月調定の場合、1 回の検針データをもとに自動的に当月と翌月の調定処理が行えること。	●
276		中途開閉栓	月の途中で開閉栓があった場合、条例に合わせて料金計算ができること。	●
277		用途・口径変更	月の途中で用途または口径に変更があった場合、使用期間の長い方で料金計算ができること。	●
278		推定一括精算	過去水量または指定水量をもとに推定の調定処理が行えること。	
279			推定明け時に推定調定をもとに精算が行えること。	
280		総額表示	総額表示（内税）に対応しており、消費税相当額を管理できること。	●
281		料金銭対応	マスタメンテの料金の指定で銭の単位の入力が可能なこと。	●
282			銭の単位までの料金で計算し、計算結果の銭の単位を切捨てて調定処理が行えること。	●
283		調定更正	水量異常の調定、過去に調定更正を行った調定などを検索して一覧画面に表示できること。また、一覧画面から必要に応じて調定更正画面へ遷移できること。	●
284			調定更正は事前に伺い入力（更正後情報入力）を行い、更正伺い書が発行できること。決済後に伺い入力結果を取り込み更正が行えること。	●
285			調定更正は、指針、水量を入力することで料金の自動計算が行え、調定更正履歴の管理と照会ができること。	●
286		スマートメーター	スマートメーター検針ファイルを取り込んで調定一括作成できること。	
287		追加調定入力	検針漏れ、検針誤りに対する過去分の調定を行えること。	●
288		納入期限管理	納入期限を事前に登録できること。	●
289		調定収納照会	調定年月、請求金額、収納金額、未納分、過誤納分、請求履歴、収納履歴などの確認ができること。	●
290		帳票出力	対象調定年月と使用水量より、口径別、用途別の水量段階別に件数および調定の内訳の出力ができること。	●
291			調定年月ごとに開栓手数料の調定件数及び金額の出力ができること。	●
292			調定一覧表、調定更正一覧表、収納保留者一覧表、収入調定決議書、調定更正集計表、納入区分別調定集計表、調定一括結果リスト、調定一括エラーリストの出力ができること。	●
293	請求処理	口座情報一括変換	金融機関の統廃合があった場合、該当金融機関へ口座情報の確認を依頼するデータを作成できること。	●
294			データ作成では、使用者の状況（開栓中、休栓中、給水停止、閉栓中）を指定できること。	
295			金融機関から返却されたデータの情報を取り込み、各請求先の口座情報を一括変換できること。	●
296		口座振替データ伝送	金融機関との口座振替データの授受は、電話回線などを使ったデータ伝送に対応できること。	
297		口座不能対応	口座振替不能分のエラーリストを出力し、納付書を発行できること。	●
298		予約管理	口座変更時の予約管理が行えること。	●
299		分納	金額指定で分納納付書を発行できること。	●
300			滞納者の窓口支払い時に過去調定または直近調定から優先して納付書（入金額以内）を発行できること。	●
301			過去調定と直近調定のどちらから優先するか発行画面上で選択できること。	●
302			端数金額分は分納納付書を発行するか否かを指定できること。	●
303			複数調定月分の金額を合算して分納納付書を発行できること。	●
304		纏め請求	納付書、口座振替による複数水栓の纏め請求ができること。	●
305			纏め請求先である親水栓を対象から外した場合、内部管理番号が最小である子水栓が親水栓に自動で切り替わること。	●
306			督促・催告納付書による複数調定の纏め請求ができること。	●
307			督促・催告両方、督促のみ、催告のみを纏めるか選択できること。	●
308			督促・催告納付書 1 枚に纏める調定数を指定できること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
309	請求処理	口座振替	口座振替は全銀協フォーマットのデータにより請求すること。	●
310			データは指定したドライブにデータを作成できること。	●
311			データ作成後に請求を中止したい調定があった場合、調定を指定して作成データ内から該当データを削除することができること。	●
312		二重請求防止	請求済みの納付書は再発行を指定しないと発行できないように、二重請求防止対策が講じられていること。	●
313		口座振替不能	口座不能分の納付書、または通知書が発行できること。	●
314		納付書発行	納付書の一括発行ができること。	●
315			複数の水道局窓口納付に対応するため、納付書の再発行は、汎用プリンターでも出力できること。	●
316			専用紙の納付書だけでなく、汎用紙に指定様式による納付書の発行ができること。	●
317		コンビニ収納	コンビニ収納におけるバーコード形式、伝送データフォーマットは（財）流通システム開発センター作成の「GS1-128による標準料金代理収納ガイドライン」に準拠していること。	●
318			バーコードに埋め込む納期限（有効期限）は、納付書発行時に都度設定可能であること。	●
319		口座振替依頼表	金融機関別に口座振替件数と金額を出力できること。	●
320		請求履歴管理	請求履歴を管理できること。（請求日、請求方法、納入期限、請求料金、請求処理を行ったユーザ名称、口座情報）	●
321		請求保留	漏水、クレーム等で一調定だけ請求行為を行わないとなった場合に請求保留をかけることができること。	●
322		帳票出力	口座振替請求一覧表、口座振替依頼書、納付書、納付書発行一覧表、督促状、口座振替請求エラーリストの出力ができること。	●
323	収納処理	収納方法管理	収納区分は、自主納付（コンビニ収納含む）、口座振替、職員集金、一般集金、クレジット、複数の管理ができること。	●
324		口座振替	金融機関から戻って来た口座振替済みデータから収納消込み処理ができること。	●
325			口座振替不能者分の納付書は口座振替不能理由を出力できること。	●
326			滞納者からの要請により過去の未納分を個別に選択してデータに追加することで、定期振替分と纏めて口座振替ができること。	●
327			金融機関ごとに年間の振替予定日、再振替予定日を事前登録し、口座振替データの作成時に引用できること。	●
328		納付書発行	納付書払いの使用者の場合、対象を一括発行できること。	●
329			集金口座振込の使用者は納付書を作成し送付できること。	●
330			口座振替者の納付書作成もできること。	●
331			OCR装置で納付書を一括消し込みができること。	
332		分納納付書発行	分納金額を指定し納付書に出力可能であること。	●
333			OCRやバーコードリーダによる分納納付書の消込も可能であること。	●
334		照会	過去分の調定収納の照会処理が行えること。	●
335		充当処理	前受金過誤納金の充当管理が行えること。	●
336			充当処理の履歴を照会できること。	●
337		口座停止	口座振替不能（資金不足など）が続く場合は、画面より口座振替を停止して一時的に納付書払いへの切替ができること。	●
338			あらかじめ指定した回数、口座振替不能（資金不足など）が続く場合は、自動で口座振替を停止して、納付書払いへ切替わること。	●
339			口座振替が可能となった場合は口座情報を再入力することなく再度、口座振替に戻すことができること。	●
340		クレジット決済	クレジット決済に対応できること。	
341		F-REGI 公金支払い	F-REGI 公金支払い（継続払い）に対応できること。	
342		コンビニ収納	コンビニエンスストア収納は回線を利用して取り込み、消込みができること。	
343			コンビニエンスストア別、時間別、日別の収納件数などの画面表示と一覧表の出力ができること。	●
344		納付書仮消込	納付書を仮で消込み、本消込み前に結果を事前確認できること。	●

項	業務名称	機能名称	仕様条件	必須要件
345	収納処理	バーコード消込	バーコードリーダの読取りによる納付書消込みが可能であること。	●
346			コンビニ店舗および市内双方での読み取り時に混乱しないよう、納付書に印刷するバーコードはコンビニ用バーコード(GS1-128)のみとすること。	●
347		重納チェック	OCR消し込み時に既に消し込み済みである納付書はエラーにして、収納データの2重取込み防止ができること。	
348		預り金管理	預り金（前受金、過誤納充当）の入金／還付処理／一括充当処理ができること。	●
349			前受金の不足時期について予測し、リスト化できること。	●
350		還付	還付分については個々に還付予定日の入力ができること。	●
351			還付予定日を指定して一括で還付消し込みができること。	●
352		納付書再発行	使用者調定年月を指定して納付書の再発行ができること。	●
353		雑収益管理	不能欠損後の収納を登録・管理できること。	●
354		帳票出力	収納結果は「未納者一覧表」「還付対象者一覧表」「分納履歴一覧表」「収納日計表」などを出力して確認できること。	●
355			口座振替領収書、口座振替不納通知書、収納状況一覧表、収納状況表（月別）、分納履歴一覧表、収納明細一覧表、収納日計表、納入区分別収納状況表、還付対象者一覧表、還付処理結果一覧表、未納者一覧表、水道料金等還付通知書、入金報告書、未納者年度別集計表、口座振替データ消込結果リスト、口座振替データチェックリスト、納入区分別消込結果リスト、納付書消込結果リスト、納付書消込チェックリストを出力できること。	●
356	滞納処理	ハンディ滞納徴収	滞納者はハンディターミナルで滞納徴収（滞納分の領収書発行）ができること。	
357			ハンディでの入力結果をパソコンに取り込むことで、徴収した料金の消込みが自動的に行えること。	
358		対応履歴管理	滞納整理状況の管理（各通知書発行日、給水停止解除日、滞納者への対応履歴管理）は簡易に行え画面帳票で確認できること。	●
359		滞納者検索	使用者番号、使用者氏名、請求先氏名だけでなく、催告書／給水停止予告書発送日、給水停止日、誓約有無などで滞納者を抽出できること。	●
360		分納誓約	分納誓約と分納誓約に基づく請求が行えること。	●
361			誓約が履行されていない滞納者を抽出して確認できること。	●
362			誓約調定は督促・催告・給水停止の対象とするか選択できること。	●
363		債権管理	債権管理情報（時効完成、援用、債権承認、徴収停止、債権免除など）の管理ができること。	●
364			時系列に時効中断事由を表示し確認できること。	●
365		金額指定消込	入金額を入力することで過去分調定からの消し込みを行い、不足、釣銭の自動計算ができること。	●
366		不納欠損	事前に欠損予定日を指定して、不納欠損予定一覧表を出力し確認できること。	●
367			不能欠損調書の作成ができること。	●
368		口座振替	滞納分の料金に対し再度、口座振替指示ができること。	●
369			滞納分の料金に対し、振替不能理由が資金不足である滞納調定のみ対象とできること。	●
370		給水停止	給水停止中の水栓に収納があった場合、開栓する必要があるため、把握する一覧表が作成できること。	●
371		帳票出力	督促状、催告書、給水停止予告通知書、給水停止通知書、給水停止執行通知書、滞納整理カード、不納欠損一覧表、不納欠損予定一覧、誓約調定一覧表、不納欠損調定集計表、分納誓約書、分納誓約対象情報一覧表、分納誓約納付書、徴収区分変更リスト、受信データ調定エラーリスト、転宅調定削除一覧表、未検針一覧表を出力できること。	●

受注者は、納入機器の納入完了後、速やかに下記の図書を提出すること。

1. ネットワーク構成図
2. ラックマウント図
3. 納入機器一覧表
4. 完了届
5. 納入機器、ソフトウェアに関する資料
 - (1) クライアント機器を納入時の状態へ復旧するための電子媒体及びマニュアル
 - (2) 各機器やソフトウェアの取扱説明書、ガイドブック、証書など
 - (3) その他ソフトウェアの再セットアップディスク
 - (4) システム操作マニュアル
 - (5) クライアント設定マニュアル
 - (6) 研修資料